

<聖隷浜松病院>小児科

<プログラム類型>

②基本コース

<プログラム概要>

小児科医は成長、発達の過程にある小児を診療するため、正常小児の成長・発達に関する知識が不可欠で、新生児期から思春期まで幅広い知識と、発達段階によって疾患内容が異なるという知識が必要です。さらに小児科医はgeneral physicianとしての能力が求められるため、小児科医として必須の疾患をもれなく経験し、疾患の知識とチーム医療・問題対応能力・安全管理能力を獲得し、家族への説明と同意を得る技能を身につける必要があります。

聖隷浜松病院・聖隷三方原病院ともに症例は多彩かつ豊富であり、小児科専門医としての知識・技能を修得するために最適な施設です。本プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修することを目指します。専攻医は「小児科医は子どもの総合医である」という基本的姿勢に基づいて研修を行い、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医になることをめざしてください。

<取得できる資格>

小児専門医

<現時点の受入見込数>

1人

<具体的なコース>

← うち、4年間を医師不足地域で勤務 →

初期研修 2年	後期(専門)研修 3年	後期(専門)研修後(県内病院勤務) 4年
県内病院	下記病院(当院を除く)のうち、1年間1カ所に勤務。それ以外の期間は当院へ勤務	勤務する医療機関については、医師不足地域での勤務が4年間となるよう、県とプログラム設置機関とで協議し、県で指定します

<勤務する医療機関> ※医師少数区域は今年度策定する医師確保計画で決定

二次医療圏	後期(専門)研修	後期(専門)研修後
賀茂		
熱海伊東		
駿東田方		
富士		
静岡		
志太榛原		
中東遠		
西部	聖隷浜松病院、聖隷三方原病院	上記のとおり